

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

広島県 広島市

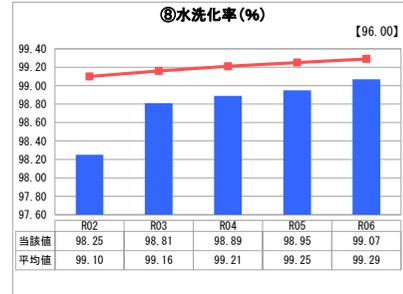
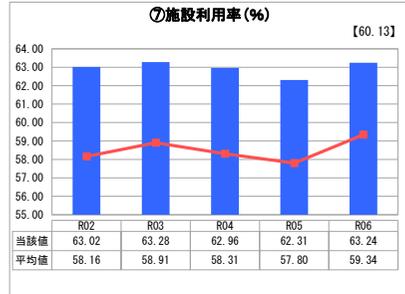
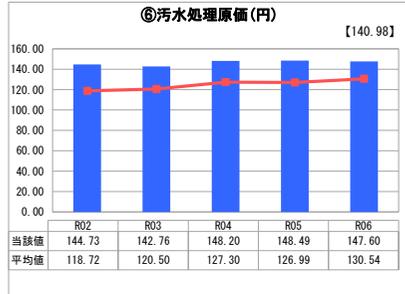
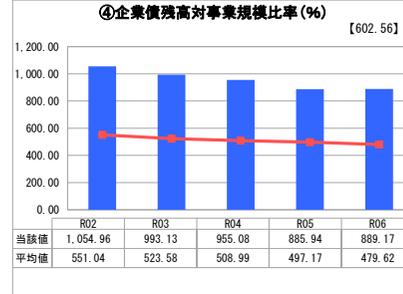
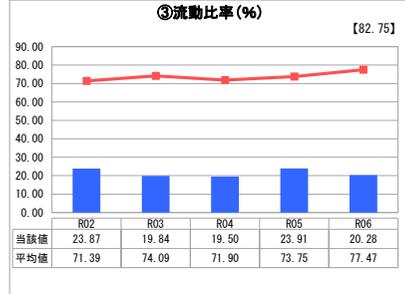
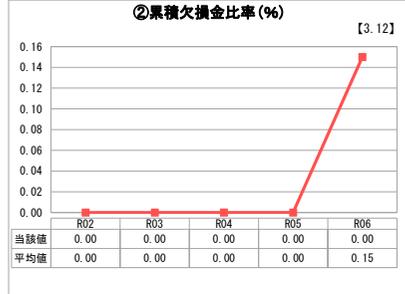
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	政令市等	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	52.74	95.45	82.68	2,260

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,173,543	906.69	1,294.32
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,117,080	143.33	7,793.76

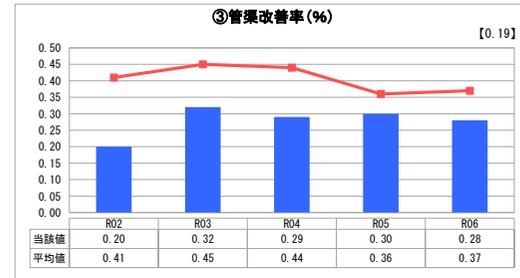
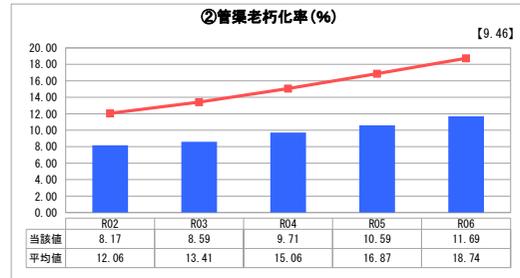
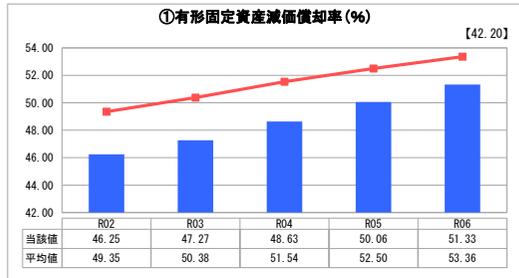
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- [ ] 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率  
100%を超えており、収支は黒字で推移しています。
- ②累積欠損金比率  
累積欠損金が生じていないため、0%となっています。
- ③流動比率  
100%を下回っていますが、流動負債の約8割は企業債であり、償還に係る資金は下水道使用料等から確保することができ、支払能力に問題はありません。
- ④企業債残高対事業規模比率  
未整備地区の解消のため、平成10年代半ばまで集中的に整備を行い企業債残高が増加したことにより、類似団体の平均値を上回っていますが、減少傾向にあります。
- ⑤経費回収率  
100%を超えています。
- ⑥汚水処理原価  
減価償却費や支払利息等の資本費が集中的な整備により高くなったため、類似団体の平均値を上回っています。
- ⑦施設利用率  
類似団体の平均値を上回っており、施設の有効利用が図られています。
- ⑧水洗化率  
類似団体の平均値を下回っていますが、水洗化の向上に努め、毎年上昇しています。

### 2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率  
類似団体の平均値を下回っていますが、有形固定資産の帳簿価格に対する減価償却累計額は毎年増加しており、更新時期を迎える資産が増加しています。
- ②管渠老朽化率  
類似団体の平均値を下回っており、耐用年数を経過した管きよは比較的少ない状況ですが、更新時期を迎える管きよが増加しています。
- ③管渠改善率  
類似団体の平均値を下回っています。

## 全体総括

近年、物価高騰等により営業費用が増大していますが、効率的な経営に努めてきた結果、経常収支比率・累積欠損金比率・経費回収率等を指標とする経営の健全性は保たれています。

また、施設や管きよの老朽化が進んでおり、今後改修等の費用が増加することが見込まれる一方で、人口減による下水道使用料の減少が見込まれます。

これらを踏まえ、中期経営プラン（令和6年度～令和9年度）に基づき、老朽化対策等に重点を置いた整備計画とその裏付けとなる経営計画を着実に実行し、健全で効率的な運営に引き続き努めていきます。

また、技術面・経営面の職員能力向上に向けた研修を実施するなど、組織全体で人材育成と技術継承に取り組み、下水道施設の整備・維持管理を安定して担える体制づくりを進めていきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。